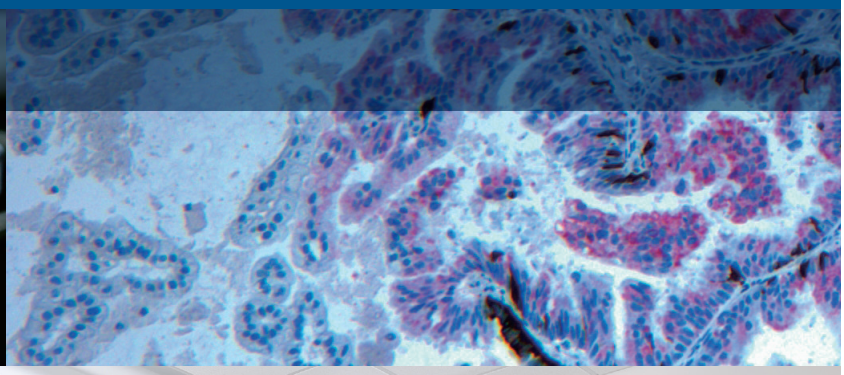
Agilent
Trusted Answers

アジレント・テクノロジーのご紹介

Agilent Technologies Corporate Overview



お客様の重要な質問や課題に信頼のある答えを
それがアジレント・テクノロジーの約束です

私たちアジレント・テクノロジーは、「ライフサイエンス」、「診断」、「応用化学」の分野に特化した会社として実世界の問題解決に取り組むお客様に貢献してまいります。お客様の重要な質問や課題に信頼ある答えを提供していくこと。それが、アジレント・テクノロジーからの約束です。私たちアジレント・テクノロジーは、お客様のラボ、クリニック、組織、そして世界において、卓越した成果を実現できるようお手伝いしてまいります。

製薬

製薬会社向けにも幅広いソリューションを提供しています。疾患研究から、創薬、医薬品の開発・製造・品質管理まで、確かな答えにつながるソリューションを提供。製薬会社の皆さまが医薬品をいち早く患者さまへお届けできるよう、支えています。

化学・先端材料

原材料から最終製品に至るまで、化学、材料、エネルギー市場では、品質検査、規格適合試験、安全性検査などでアジレント製品が使用されています。食品や医薬品原料としてのスペシャリティケミカル品、エレクトロニクス・半導体・バッテリー・コンシューマ製品・バイオメディカル製品に使われる先端材料、そして燃料や原料として使われる石油製品などが含まれます。

研究

各国政府の投資のもと、大学はライフサイエンス研究や臨床研究に取り組んでいます。がん、心疾患、糖尿病、アルツハイマー、パーキンソン病、自閉症などの研究に、私たちのソリューションが貢献しています。装置、ソフトウェア、サンプル前処理ソリューション、試薬などにより、迅速かつ正確な研究を支えています。

Markets

食品

食品の流通がグローバル化するなか、化学物質、ウイルス、細菌、微生物などに食品が汚染されていないことを確認できるよう、私たちは分析ソリューションを提供しています。“食の安全”を守る各国の政府やラボ、さらには食品を製造・販売する世界中の企業の皆さまが、私たちのお客さまとなっています。

環境・法医学

農薬、医薬品の不純物、微量金属など、私たちの生活に影響を及ぼす不純物を高速かつ正確に検出することができるソリューションを提供しています。事件や事故の証拠分析や、世界クラスのスポーツ大会の公正な運営にも貢献しています。

診断

がんなどの疾患と闘う医療従事者の皆様のもとでも、私たちのソリューションが活用されています。病理検査で使用される当社のソリューションは、病理医の皆さまが診断を下し、最適な治療法を選択する際の一助となっています。

ダコ　Omnis：自動染色装置［特定保守管理医療機器］
医療機器届出番号　13B3X10204000004

R&D / Collaborations

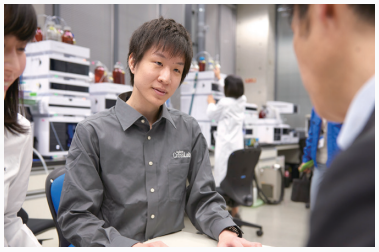
世界を見据えた製品開発と日本に根差したアプリケーション開発や共同研究でお客様をサポートしています。

世界トップレベルの「ICP-MS」を生み出す、日本の開発拠点。

東京都八王子市にある事業本部は、微量金属の成分分析には欠かせない ICP-MS（誘導結合プラズマ質量分析計）の開発拠点です。ここで開発された ICP-MS は、全世界へ向けて出荷され、水道水の分析、半導体のシリコンウェハや工場で使用する薬品・洗浄用の超純水など不純物の測定、放射性元素の測定、農産物の産地判別など、さまざまな用途で活用されています。

アプリケーション開発から学術研究の高度化まで、最先端の装置を備えたラボ。

アジレントが提供するのは装置だけではありません。東京と大阪に設置したラボでは、日々、アプリケーション開発、サンプル分析、デモ分析を行っています。その他、セミナーやトレーニングを開催し、専門知識の提供なども行っています。



アジレント・テクノロジーズ・インク　概要

Agilent Technologies, Inc.

社長兼 CEO	ポーリッグ・マクドネル
売上高	68 億 3000 万ドル（2023 年 10 月期）
営業開始	1999 年 11 月 1 日
本社	米国カリフォルニア州サンタクララ 5301 Stevens Creek Blvd. Santa Clara, CA 95051
従業員数	18,000 人（全世界）

社長兼 CEO
ポーリッグ・マクドネル

アジレント・テクノロジー日本法人　概要

営業開始	1999 年 11 月 1 日
グループ本社	東京都八王子市高倉町 9-1
オフィス	本社・八王子（東京都八王子市）、芝浦（東京都港区）、 大阪ラボ（大阪府大阪市）
従業員数	約 550 人（グループ 2 社合計）

アジレント・テクノロジー株式会社
代表取締役社長

アジレント・テクノロジー・
インターナショナル株式会社
代表取締役社長

石川 隆一

アジレント・テクノロジー株式会社

Agilent Technologies Japan, Ltd.

本社	東京都八王子市高倉町 9-1
代表者	代表取締役社長　石川 隆一
資本金	4 億 9900 万円
売上高	364 億円（2023 年 10 月期）
事業内容	ライフサイエンス研究支援機器、ラボ用分析機器、 体外診断用医薬品、医療機器、試薬等の 販売およびサポート等

アジレント・テクノロジー・インターナショナル株式会社

Agilent Technologies International Japan, Ltd.

本社	東京都八王子市高倉町 9-1
代表者	代表取締役社長　石川 隆一
資本金	5000 万円
事業内容	ラボ用分析機器の受託研究開発・製造等

沿革

1939 Hewlett-Packard (HP) 創業。最初の製品は、ディズニー映画「ファンタジア」にも使われたオーディオ発信器

1963 横河・ヒューレット・パッカード株式会社設立。日本市場に本格参入

1992 化学分析機器の研究開発、製造、販売を行う横河アナリティカルシステムズ株式会社の営業開始

1999 HP が戦略的再編成を発表。メジャメント関連事業は Agilent Technologies/ アジレント・テクノロジーとして営業開始

2001 ヘルスケアソリューション事業を売却

2005 半導体部品事業を売却、半導体最終検査装置事業をスピンオフ

2007 横河アナリティカルシステムズ株式会社の事業を、アジレント・テクノロジー株式会社およびアジレント・テクノロジー・インターナショナル株式会社に統合

2010 科学機器メーカー、Varian/バリアン テクノロジーズ ジャパンの事業を統合

2012 Agilent Technologies が Dako/ ダコを子会社化

2014 電子計測事業をスピンオフ

2016 ダコ・ジャパン合同会社を、アジレント・テクノロジー株式会社に吸収合併

2021 バイオテック・ジャパン合同会社をアジレント・テクノロジー株式会社に吸収合併

主要取扱い品目

ガスクロマトグラフ（GC）、ガスクロマトグラフ質量分析装置（GC/MS）、液体クロマトグラフ（LC）、液体クロマトグラフ質量分析装置（LC/MS）、超臨界流体クロマトグラフィ（SFC）、原子スペクトロスコピー（誘導結合プラズマ質量分析計（ICP-MS）、誘導結合プラズマ発光分光分析装置（ICP-OES）、マイクロ波プラズマ発光分光分析装置（MP-AES）、原子吸光分光光度計（AA））、分光光度計（フーリエ変換赤外分光光度計、紫外可視分光光度計、蛍光分光光度計、ラマン分光光度計）、自動電気泳動装置、DNA マイクロアレイ、NGS（次世代シーケンス）関連試薬、FISH プローブ、自動化ソリューション、溶出試験器、自動染色装置等（医療機器）、細胞解析用マイクロプレート関連機器（プレートリーダー、分注機、ウォッシャー）、細胞観察用デジタル顕微鏡、細胞外フラックスアナライザー、リアルタイム細胞解析装置、フローサイトメータ、各種抗体、試薬キット、体外診断用医薬品、真空システム、カラム・消耗品、ソフトウェア、インフォマティクス、サービス

Agilent Brands

Agilent CrossLab
革新的なラボ向けサービス・消耗品

Dako Agilent Pathology Solutions
診断用抗体、試薬、装置、ソフトウェア等

Agilent InfinityLab LC Family
高品質で、堅牢な分析結果を提供する
LC、カラム、サプライ品

Agilent OpenLab Software Suite
機能豊富な統合型ソフトウェア製品群

www.agilent.com

掲載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

Published in Japan, July 26, 2024
© Agilent Technologies, Inc. 2024
5990-7436JAJP

Agilent
Trusted Answers